



<報道関係者各位>

展覧会の主催に日本博が追加となりました。詳細はP9をご覧ください。

すみだ北斎美術館 企画展のご案内

開催期間 2019年6月25日～8月25日

「綴プロジェクト」高精細複製画で綴る
スミソニアン協会
フリーア美術館の

北斎展



葛飾北斎「玉川六景図」フリーア美術館蔵（通期）

※展示は、研究に基づく修復前の構成順に仕立てられた高精細複製画となります。

日本では決して観られない、逸品ぞろいの北斎13作品 高精細複製画で、日本国内で初のお披露目がかないました！

日本美術の宝庫として知られるフリーア美術館（米国ワシントンD.C.）は、所蔵品に関して門外不出の方針を貫いているため、日本でその名を知る人は多くありません。

そこで本展では、フリーア美術館の協力のもと、特定非営利活動法人 京都文化協会とキヤノン株式会社が推進する「綴プロジェクト」によって、同館が誇る世界最大級の北斎の肉筆画コレクションの中から13点の高精細複製画を制作、これをすみだ北斎美術館が所蔵する約130点の関連作品と共に展示します。

六曲一双の大作「玉川六景図」に関する詳細な研究をはじめ、フリーア美術館所蔵の肉筆画「波濤図」（※展示は高精細複製画）と、当館所蔵の版画「冨嶽三十六景 神奈川沖浪裏」の波の表現を比較展示するなど、最先端のデジタル技術と本物の作品の競演を通じ、北斎芸術の神髄に迫ります。

<本展の見どころ>

- ① 北斎の大作「玉川六景図」屏風を、制作当時の構成順に再現
- ② フリーア美術館の名品（高精細複製画）と貴重な当館所蔵作品を、テーマごとに比較し解説
- ③ 本物では行えない展示方法を、高精細複製画の活用により実現

～目次～

■展示構成

P02

■開催概要

P09

■関連イベントのお知らせ

P07

■次回企画展のお知らせ

P10



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992

E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■展示構成

—— 第1章「玉川六景図」の研究 ——

フリーア美術館収蔵の六曲一双の屏風「玉川六景図」は、現在の仕立てでは右隻に人物、左隻に風景となっていますが、明治時代の文献や写真資料に基づく新たな研究により、後年に、その配列が再構成されていた可能性が高いことが明らかにされました。本展では、この新しい発見による当時の配列での展示を試みています。



◆本来の並びは、解説を読むと納得がいくのでは。当館所蔵の肉筆画「千鳥の玉川図」とも比較してご覧ください。

<左> 葛飾北斎「玉川六景図」(部分・通期) フリーア美術館蔵 ※展示は、研究に基づく修復前の構成順に仕立てられた高精細複製画となります
<右> 葛飾北斎「千鳥の玉川図」(前期) すみだ北斎美術館蔵

—— 第2章 古典と伝説 ——

この章では鬼神や漁師、鬼や蛇など、北斎が多く描いた日本や中国の古典や伝説をテーマとした作品を展示します。力強い雷神や愛嬌のある雷神、恐ろしい霊鬼など、同じ画題であってもバラエティーに富んだ表現が登場します。

◆轟く雷鳴が感じられるほど、迫力ある作品です。

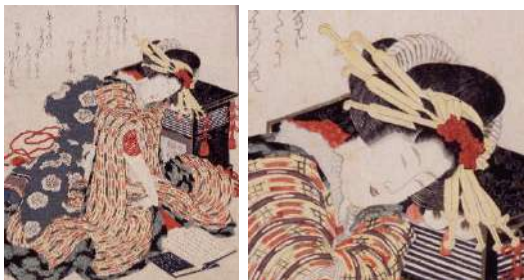


<左> 葛飾北斎「雷神図」(通期) フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります
<右> 葛飾北斎『画本武蔵鑑』上 悪源太義平の霊 難波の六郎を引割く (部分・通期) すみだ北斎美術館蔵

—— 第3章 美人画 ——

北斎はさまざまな美人の描き方を試みながら多彩なスタイルを確立していきました。各期の描き方の特徴が良く表れているフリーア美術館の作品と当館の所蔵作品を合わせてご覧いただき、北斎の美人画の魅力をご紹介します。

◆うりざね顔からふっくら艶やかな美人まで、北斎が描く美人の変遷にご注目ください。



<左> 葛飾北斎「枕草子を読む娘」(後期) すみだ北斎美術館蔵



<右> 葛飾北斎「年始まわりの遊女図」(後期) フリーア美術館蔵
※展示は高精細複製画となります



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



—— 第4章 動物と植物 ——

北斎の画業を語るうえで欠かすことのできない要素、動植物の展示です。『北斎漫画』をはじめとする絵手本や、読本の挿絵、肉筆画においても、北斎は自然に対する類まれな観察眼と描写力によって、一つの線がまるで生きてるように描くことを生涯にわたって目指しました。

◆精緻な描写にご注目ください



葛飾北斎「十二ヶ月花鳥図」(通期) フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります

—— 第5章 自然と風景 ——

フリーア美術館が所蔵する肉筆画の中には、富士山を背景として人物を点景とする構図や、波の表現などを見ることができます。北斎が繰り返し描いた自然のモチーフに焦点を当て、その表現を比較します。フリーア美術館所蔵の肉筆画「波濤図」と、当館所蔵の版画「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」の競演です。

◆「神奈川冲浪裏」にある“鉤爪”のような波頭の描き方が、肉筆画「波濤図」にも見てとれます



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」すみだ北斎美術館蔵
(作品を替えて通期で展示)



葛飾北斎「波濤図」(通期) フリーア美術館蔵
※展示は高精細複製画となります

■ 国立スミソニアン協会フリーア美術館

1923年にアメリカのワシントンD.C.に設立された美術館で、スミソニアン博物館群の一つです。実業家チャールズ・ラング・フリーア(1854-1919)が収集した美術品をはじめ、隣接するアーサー・M・サックラー・ギャラリーも合わせて、日本美術の収蔵品数は約1万2,700点に及び、中でも北斎の肉筆画は世界屈指のコレクションを誇ります。フリーアの遺言により所蔵品はすべて門外不出とされ、その方針は現在も守られています。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■ 綴プロジェクト（正式名称：文化財未来継承プロジェクト）

オリジナル文化財の保存と高精細複製品の活用を目的として、特定非営利活動法人 京都文化協会とキヤノン株式会社が推進している社会貢献活動です。キヤノンの入力、画像処理、出力に至る先進のデジタル技術と、京都伝統工芸の匠の技との融合により、屏風や襖絵、絵巻物など古くから日本に伝わる貴重な文化財の高精細な複製品を制作し、寺社や美術館等に寄贈しています。



■ 謝辞：当企画展は「綴プロジェクト」のご協力により実現しました

今回の企画展にあたり、「綴プロジェクト」のキヤノン様・京都文化協会様より、13作品にのぼるフリーア美術館所蔵作品の高精細複製画の制作にご協力をいただくとともに、そのすべてを墨田区へご寄贈いただきました。最先端デジタル技術と伝統の職人技術という、日本の誇る技術の双璧による高精細複製画は、間近に観ても完成度の高い作品ばかりです。

当館では高精細複製画の特徴と浮世絵との親和性を活かし、展示やワークショップなどで、今後も折に触れ、皆様のお目にかかる機会をつくってまいります。

*****<綴プロジェクト寄贈 高精細複製画 13点>*****

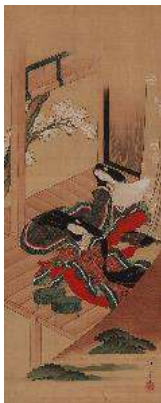
■ プレス画像請求用

- ・クレジット表記は次頁参照

①



②



③



④



⑤



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



※フリーア美術館所蔵の作品画像を使用の際には、各作品につき、以下クレジットが全て必須となります。

①葛飾北斎「玉川六景図」(通期)フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1904.204-205

②葛飾北斎「源氏物語 早蕨図」(前期)フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1904.184

③葛飾北斎「漁樵問答図」(後期)フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1904.181-182



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



④葛飾北斎「雷神図」(通期)フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1900.47

⑤葛飾北斎「琵琶に白蛇図」(通期)フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1904.134

⑥葛飾北斎「遊女図」(前期)フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1903.129

⑦葛飾北斎「年始まわりの遊女図」フリーア美術館蔵(後期) ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Purchase - Charles Lang Freer Endowment, F1954.119

⑧葛飾北斎「新年風俗図(初夢・朝化粧)」(通期)フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1903.52-53

⑨葛飾北斎「鍋冠祭図」(通期) ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1904.177

⑩葛飾北斎「十二ヶ月花鳥図」(前期)フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1904.179-180

⑪葛飾北斎「蟹尽し図」(通期)フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1902.254

⑫葛飾北斎「富士田園景図」(後期)フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1902.48-49

⑬葛飾北斎「波濤図」(通期)フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります。

Original: Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1905.276



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■プレス画像請求用 (すみだ北斎美術館所蔵の作品)



- 1) 葛飾北斎「千鳥の玉川図」(前期) すみだ北斎美術館蔵
- 2) 葛飾北斎『画本武蔵鑑』上 悪源太義平の霊 難波の六郎を引割く(通期) すみだ北斎美術館蔵
- 3) 葛飾北斎「枕草子を読む娘」(後期) すみだ北斎美術館蔵
- 4) 葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」(作品を替えて通期で展示) すみだ北斎美術館蔵



企画展リーフレットを販売致します

本展の主要作品およびその解説を収録したリーフレットを300円(税込)で販売します。当館のミュージアムショップでしかご購入いただくことのできない、リーフレットです。



当館は企画展とともに、バラエティ豊かな展示や関連イベントなど、地域・人・芸術など「つながる」に根差した企画を実施しています。



関連イベントのお知らせ

<講演会>

- 1) 講演会「北斎の肉筆画」
 - ・講師 : フランク・フェルテンズ ※講演は日本語です
(国立スミソニアン協会フリーア美術館 日本美術担当学芸員)
 - ・場所 : MARUGEN100 (講座室)
 - ・日時 : 6月29日(土) 14:00~15:30 予定(開場 13:30)
 - ・定員 : 60名
 - ・料金 : 無料(ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です)



国立スミソニアン協会フリーア美術館
日本美術担当学芸員 フランク・フェルテンズ



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



2) スライドトーク

「綴プロジェクト」-高精細複製画で綴る-スミノニアン協会フリーア美術館の北斎展の見どころ

- ・講師 : 当館学芸・教育普及担当 ①奥田敦子 ②長谷川暢子
- ・場所 : MARUGEN100 (講座室)
- ・日時 : ①7月6日(土) 14:00~14:30 予定 (開場 13:30)
②8月3日(土) 14:00~14:30 予定 (開場 13:30)
- ・定員 : 各60名
- ・料金 : 無料(ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です)

<ワークショップ>

1) 子どものためのワークショップ「きったり、はったり、えがいたり びょうぶづくり！」

- ・講師 : 当館学芸・教育普及担当
- ・場所 : MARUGEN100 (講座室)
- ・日時 : 8月10日(土) 14:00~16:00 予定 (開場 13:30)
- ・対象 : 小学生以上
- ・定員 : 20名(事前申込制となります。詳細はHPをご覧ください)
- ・料金 : 無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要です)
- ・内容 : フリーア美術館所蔵の屏風「十二ヶ月花鳥図」(高精細複製画)をゆっくり鑑賞したあとに、それぞれの1年間をテーマにした「十二ヶ月〇〇びょうぶ」をつくります。絵具や墨、カラーペーパー、毛糸など、好きな素材を自由に使ってびょうぶに描きます。

2) 「じっくり日本美術」

- ・講師 : 当館学芸・教育普及担当
- ・場所 : MARUGEN100 (講座室)
- ・日時 : 8月17日(土) 14:00~16:00 予定 (開場 13:30)
- ・定員 : 20名(事前申込制となります。詳細はHPをご覧ください)
- ・料金 : 無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要です)
- ・内容 : フリーア美術館所蔵作品の高精細複製画のうち屏風と掛軸を実際に手にとって作品の取扱いを体験!鑑賞のポイントなどもお話します。作品とじっくり過ごすワークショップです。



葛飾北斎「十二ヶ月花鳥図」(前期)フリーア美術館蔵 ※展示は高精細複製画となります。

※1)・2)ともにフリーア美術館所蔵「十二ヶ月花鳥図」(高精細複製画)などをつかったワークショップです。



お得な入館料割引サービス

【お誕生日割引】

本展開催中の6月から8月生まれの方は(ご本人のみ)誕生月に割引料金でご入館いただけます。入館時にチケットカウンターにて、お誕生月のわかる身分証明書をご提示ください。

※対象:6、7、8月がお誕生月の方(誕生日当日でなくても利用可)

※例:7月1日生まれの方が誕生月の7月に来館されると、企画展・常設展とも割引料金でご入館いただけます

【リピーター割引】 前期・後期で展示される“見どころ作品”をチェックしてみませんか?

本展の観覧券半券をチケットカウンターでご提示いただくと、割引料金でご入館いただけます。

【メルマガ割引】 当館ならではの情報を配信中!

配信されたメルマガ本文の画面、もしくはプリントアウトしたものをチケット購入時にご提示の方は、割引料金でご入館いただけます。

◎上記いずれも20%割引となります

◎他の各種割引とのご併用はできません



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992

E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



本展は、「日本博」の目指す総合テーマ「日本人と自然」に合致する展覧会として、地域の美術館・博物館による日本博主催・共催型企画の第一弾となりました。

<日本博とは>

文化庁及び独立行政法人日本芸術文化振興会を中心に、関係府省庁や文化施設、地方自治体、民間団体等の総力を結集した大型国家プロジェクト。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、「縄文から現代」までの「日本の美」を体現する美術展・舞台芸術公演・文化芸術祭等を、「日本人と自然」という総合テーマの下、四季折々・年間を通じて全国で展開。

※紹介 URL：<https://www.ntj.jac.go.jp/nihonhaku/>

■開催概要

○展覧会名

「綴プロジェクト」—高精細複製画で綴る—スミソニアン協会フリーア美術館の北斎展

○会期：2019年6月25日（火）～8月25日（日）

◎前期：6月25日（火）～7月28日（日）

◎後期：7月30日（火）～8月25日（日）

※前後期で一部展示替えを実施

※休館日：毎週月曜日（祝日または振替休日の場合は、翌平日）

○主催：文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、墨田区・すみだ北斎美術館

○特別協賛：キヤノン

○特別協力：スミソニアン協会フリーア美術館

○協力：京都文化協会

○お問い合わせ：すみだ北斎美術館

○観覧料：一般1,000円<800円>、高校生・大学生700円<560円>、中学生300円<240円>、65歳以上700円<560円>、障がい者300円<240円> ※<>は団体料金

※団体は有料のお客様20名以上。

※小学生以下は無料。

※中学生・高校生・大学生(高専、専門学校、専修学校生含む)は生徒手帳または学生証をご提示ください。

※65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。

※身体障がい者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の1名まで障がい者料金でご覧いただけます。(入館の際は、身体障がい者手帳などの提示をお願いします)

◎本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA(常設展示室)もご覧になれます。

【すみだ北斎美術館】

○開館時間：9:30-17:30（入館は17:00まで）

○休館日：毎週月曜日（月曜が祝日または振替休日の場合はその翌平日）

○住所：〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-7-2

○電話：03-6658-8936

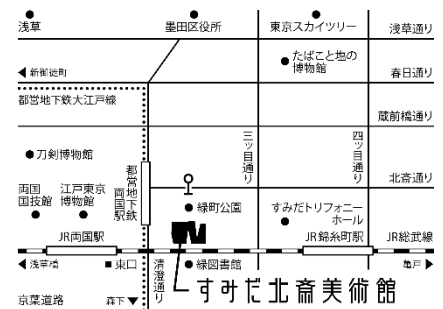
○公式サイト：<http://hokusai-museum.jp/tsuzuri/>

○公式Twitter：<http://twitter.com/HokusaiMuseum/>

○公式Facebook：<http://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/>

○すみだ北斎美術館 2019年度展覧会紹介動画：

<https://www.youtube.com/watch?v=BZ29mFVKfBc>

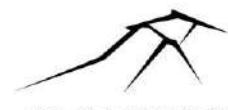


都営地下鉄大江戸線「両国駅」出口より徒歩5分
JR総武線「両国駅」東口より徒歩9分
JR総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■今後の企画展予定

◇2019年9月10日（火）～11月4日（月・振替休日）
「北斎没後170年記念 茂木本家美術館の北斎名品展」

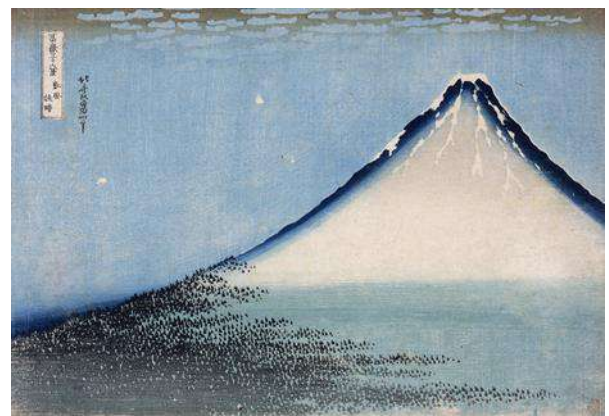
茂木本家美術館は、キッコーマン創業家の一つである茂木本家十二代当主茂木 七左衛門氏（1907-2012）が収集した美術品を展示する館として、2006年に千葉県野田市に開館しました。

本展では、浮世絵や近現代の絵画・彫刻・工芸など多岐にわたるコレクションの中から、「富嶽三十六景」をはじめとする葛飾北斎の錦絵・摺物・版本、魚屋北溪などの門人たちによる錦絵・摺物、藪内佐斗司氏による北斎の彫刻など前後期あわせて116点を展覧します。

茂木本家美術館の北斎関連作品を一挙に公開する展示は、今回が初となります。特に「青富士」の通称で知られる「富嶽三十六景 凱風快晴」の異版、稀少な門人らの作品などは必見です。この機会にぜひお越しください。



「富嶽三十六景 凱風快晴」 茂木本家美術館蔵



「富嶽三十六景 凱風快晴」（異版・藍摺） 茂木本家美術館蔵

報道関係の方の
お問い合わせ先すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp

すみだ北斎美術館



The TSUZURI Project:

HOKUSAI

FREER
HOKUSAI
SUMIDA

The Art of Hokusai,
reproduced from
the collection of
the Freer Gallery of Art,
Smithsonian Institution



THE SUMIDA HOKUSAI MUSEUM



北斎を未来へ。

「綴プロジェクト」

高精細複製画で綴る

スミソニアン協会

フリーア美術館の 北斎展

2019年 6月25日(火) - 8月25日(日)

前期 6月25日(火) - 7月28日(日) 後期 7月30日(火) - 8月25日(日)

※各期で一部展示替えあり

【開館時間】9時30分 - 17時30分(入館は17時まで)

【休館日】7/1(月)、8(日)、16(火)、22(月)、29(日)、8/5(日)、13(火)、19(日)

【主催】文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、墨田区、すみだ北斎美術館

【特別協賛】キャンパ 【特別協力】スミソニアン協会フリーア美術館 【協力】京都文化協会



すみだ北斎美術館

日本では決して観ることのできない北斎、に出会える!

「波濤図」

荒々しい龍爪のような波頭の描写が迫り来る北斎88歳の時の肉筆画です。近景に昇波、遠景に陸の様子を描く事によって奥行きを感じさせるなど、西洋絵画の遠近法と日本美術の伝統的表現を卓越した技で融合させています。本展では、北斎の版画の代表作「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」と比較展示します。

In this brush-drawn painting, created when Hokusai was eighty-eight, the depiction of the violent claw-like waves is compelling. It uses single-point perspective from Western painting, giving it a sense of depth through the depiction of the wild waves in the foreground and the shore in the distance, and combines it with Hokusai's superb mastery of the traditions of Japanese art. In this exhibition, the facsimile of *Breaking Waves* will be shown in comparison with *Under the Wave off Kanagawa*, from the series *Thirty-six Views of Mount Fuji*, a masterpiece among woodblock prints by Hokusai.



葛飾北斎「波濤図」フリーア美術館蔵（複製） ※展示は高精細複製画となります。
Reading Room: Freer Gallery of Art and Arthur M. Sackler Gallery, Smithsonian Institution, Washington, D.C.; Gift of Charles Lang Freer, F1905.276



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」すみだ北斎美術館蔵（作品を替えて複製で展示）
Under the Wave off Kanagawa, from the series *Thirty-six Views of Mount Fuji*

「綴プロジェクト」高精細複製画で綴る スミソニアン協会 フリーア美術館の北斎展

The Tsuzuri Project: The Art of Hokusai, reproduced from the collection of the Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution

日本美術の宝庫として知られるフリーア美術館(米国ワシントンD.C.)は、所蔵品に関して門外不出の方針を貫いているため、日本でその名を知る人は多くありません。そこで本展では、フリーア美術館の協力のもと、京都文化協会とキヤノンが推進する「綴プロジェクト」によって、同館が誇る世界最大級の北斎の肉筆画コレクションの中から13点の高精細複製画を制作、これをすみだ北斎美術館が所蔵する約130点の関連作品と共に展示します。六曲一双の大作「玉川六景図」に関する詳細な研究をはじめ、肉筆画の「波濤図」と版画の「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」の波の表現を比較展示するなど、最先端のデジタル技術と本物の作品の競演を通じ、北斎芸術の神髄に迫ります。

The Freer Gallery of Art of the Smithsonian Institution in Washington, DC, renowned for its superb collection of Japanese Art has remained unknown among many people here in Japan due to the museum policy of not lending its holdings to outside institutions. Hereupon, in cooperation with the Freer Gallery of Art, the Tsuzuri project, organized by Kyoto Culture Association and Canon, reproduced 13 paintings selected from the Freer's collection of Hokusai paintings, which is the world's finest and largest of its kind. This time the Sumida Hokusai Museum will hold an exhibition focusing on those high-resolution facsimiles, together with about 130 related works out of their own collection. The exhibition juxtaposes facsimiles, created using the most advanced digital techniques, and actual works by Hokusai; by offering an opportunity to study *Six Tama Rivers*, a pair of six-fold screens, and comparisons of Hokusai's styles of rendering waves in his painting *Breaking Waves* and a woodblock print *Under the Wave off Kanagawa*, from the series *Thirty-six Views of Mount Fuji*, this exhibition will unveil the essence of Hokusai's art.



葛飾北斎「玉川六景図」(部分) フリーア美術館蔵 (複製) ※展示は高精細複製画となります。
Six Tama Rivers
Freer Gallery of Art and Arthur M. Sackler Gallery, Smithsonian Institution, Washington, D.C.; Gift of Charles Lang Freer, F1999.204.205 (detail)

「玉川六景図」

和歌に詠みこまれた6つの玉川(京都、大阪、和歌山、滋賀、東京、宮城)を題材とした六曲一双の屏風(6枚が左右で対になっている)です。現在のフリーア美術館の仕立てでは、人物を右隻、風景を左隻と分けられています。もともとは人物と風景を一対とした計6組で構成されていた可能性が高く、本展では詳細な考査と共に、元の構成順での展示を試みます。

The topic of this pair of six-fold screens is the six Tama Rivers celebrated in *waka* poetry (rivers in Kyoto, Osaka, Wakayama, Shiga, Tokyo, and Miyagi). As currently mounted at the Freer Gallery, the right-hand screen has panels with images of human figures and the left-hand screen shows landscapes. It is highly likely, however, that the original composition consisted of six groups of paintings, each pair consisting of a human figure and a landscape. For this exhibition, based upon detailed study of the screens, we will attempt to display the panels in their original order.



国立スミソニアン協会
フリーア美術館
The Freer Gallery of Art,
Smithsonian Institution

1923年にアメリカのワシントンD.C.に設立された美術館で、スミソニアン博物館群の一つです。所蔵作品は、実業家チャールズ・ラング・フリーア(1854-1919)が収集した美術品をはじめ、隣接するアーサー・M・サックラー・ギャラリーも含めて、日本美術の収蔵品数は約1万2,700点に及び、中でも北斎の肉筆画は世界屈指のコレクションを誇ります。フリーアの遺言により所蔵品はすべて門外不出とされ、その方針は現在も守られています。

The Freer Gallery, which opened in Washington, DC, in 1923, is a part of the Smithsonian Institution. The foundation of the museum's collection are artworks donated by the businessman Charles Lang Freer (1854-1919), an American industrialist. The Freer Gallery of Art and its adjacent Arthur M. Sackler Gallery, now hold about 12,700 works of Japanese art. The Freer Gallery of Art is home to one of the world's finest collections of paintings, sketches, and drawings by Hokusai. In accordance with Charles Lang Freer's will, the collection is not allowed to be lent out, and the policy has been rigorously upheld by the museum over the century since its founding.



綴プロジェクト (文化財未来継承プロジェクト) The Tsuzuri Project (Cultural Heritage Inheritance Project)

オリジナル文化財の保存と高精細複製品の活用を目的として、特定非営利活動法人 京都文化協会とキヤノン株式会社が推進している社会貢献活動です。キヤノンの入力、画像処理、出力に至る最先端のデジタル技術と、京都伝統工芸の匠の技との融合により、屏風や襦袢、絵巻物など古くから日本に伝わる貴重な文化財の高精細な複製品を制作し、寺社や美術館等に寄贈しています。

The Kyoto Culture Association and Canon are carrying out this philanthropic project aimed at preserving the original cultural properties while enabling the use of high-resolution facsimiles of them. The project combines Canon's advanced digital technologies for capturing images, processing them, and outputting them with the skills of Kyoto-based masters in the traditional arts. This union of technology and tradition make it possible to create high resolution facsimiles of rare and valuable cultural artifacts from Japan's past, including folding-screen, *fusuma* paintings and hanging scrolls. The resulting facsimiles are donated to shrines, temples, and museums.

葛飾北斎「年寄新まりの遊女図」フリーア美術館蔵(複製) ※展示は高精細複製画となります。

Portrait of a Courtesan Walking
Freer Gallery of Art and Arthur M. Sackler Gallery,
Smithsonian Institution, Washington, D.C.;
Purchase: Charles Lang Freer Endowment,
1954.19

◆観覧料 ※AURORA(寄席展示室)観覧料含む。

一般	高校生・大学生	65歳以上	中学生	障がい者
1,000円	700円	700円	300円	300円
団体	800円	560円	560円	240円

※団体は有料のお客様20名以上。 ※小学生以下は無料。 ※中学生・高校生・大学生(高専、専門学校、専門学校生)は半額(小学生は半額未満) ※65歳以上の物は半額を証明できるものも割引くれない ※身体障がい者手帳、その写し、学生証、教育手帳、福祉課発行の福祉者優待手帳などをお持ちの方及びその介護の方の名義で障がい者料金をご適用いただけます。(人数の制限、身体障がい者手帳などの提示をお願い致します) ※本展のチケットは、会期中観覧日当日限り、AURORA(寄席展示室)もご覧いただけます。

すみだ北斎美術館 〒130-0014 東京都墨田区区魚沢2-7-2
TEL 03-6658-8936
http://hokusai-museum/tsuzuri/

●都営地下鉄大江戸線「两国駅」出口より徒歩5分
●JR総武線「両国駅」東口より徒歩9分
●JR総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分

●前売券販売所
○すみだ北斎美術館受付
＜販売期間＞2019年5月25日～6月23日
○ローソンチケット(Lコード:31377)
http://l-tike.com TEL:0570-084-003
◎カンパティ http://www.conletti-web.com/

綴TSUZURI 文化財未来継承プロジェクト

京都市文化協会 Canon

MARUGEN 100(講堂)で行われるイベント

■講演会「北斎の肉筆画」
※講演は日本語です
講師:フランク・フェルテンズ
(国立スミソニアン協会フリーア美術館 日本美術担当学芸員)
日時:6月29日(土) 14:00~15:30(開場:13:30)
定員:60名
参加料:無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要です)

■スライドショー
「高精細複製画で綴る フリーア美術館の北斎展のみどころ」
日時:7月6日(土)、8月3日(土) 14:00~14:30(開場:13:30)
講師:当館学芸・教育普及担当
定員:60名
参加料:無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要です)

■子どものためのワークショップ「きつたり、はつたり、えがいたり、びょうぶづくり」
フリーア美術館所蔵の母屋「十二ヶ月花鳥図」(高精細複製画)をゆっくり鑑賞し、それぞれの「十二月〇〇ぶょうぶづくり」します。
日時:8月10日(土) 14:00~16:00(開場13:30)
定員:20名(事前申込制) ※申込みの締め切りはご注意ください
対象:小学生以上
参加料:無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要です)

■ワークショップ「じっくり日本美術」
フリーア美術館所蔵作品の高精細複製画のうち屏風と掛軸を資料に準じて作品の取扱い、体験鑑賞のポイントなどもお話しします。作品とじっくり過ごすワークショップです。
日時:8月17日(土) 14:00~16:00(開場13:30)
定員:20名(事前申込制) ※申込みの締め切りはご注意ください
参加料:無料(ただし、観覧券または年間パスポートが必要)

THE SUMIDA HOKUSAI MUSEUM
2-7-2 Kamesawa, Sumida-ku, Tokyo 130-0014
*5-minute walk from the Toei Oedo Line Ryogoku Station
*9-minute walk from JR Sobu Line Ryogoku Station East exit

Period: 25 June (Tue)-25 August (Sun)
Closed: Every Monday <Open:15 Jul, 12 Aug, (Mon)>
Closed:16 Jul, 13 Aug, (Tue)>
Hours:9:30-17:30 (Last admission 17:00)
Admission: Adult ¥1,000(¥800),
H.S/Univ. Students/Seniors 65+ ¥700(¥580),
J.H.S Students/ Disabled Peoples ¥300(¥240),
Students in elementary school and younger Free
* (¥) refer to group discount tickets.
* Group discount tickets: more than 20 persons.

https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/
https://twitter.com/HokusaiMuseum/